

# 地域防災 求む若い力

宇和島市消防団と県消防協会

## 北宇和高三間分校で活動紹介



放水ホースの展張に挑戦する三間分校生

地域防災の担い手で  
ある消防団員の確保に  
つなげようと、県消防  
協会と宇和島市消防団  
は5日、同市三間町戸  
雁の北宇和高校三間分  
校で全校生徒約70人に  
活動内容などを紹介し  
た。

協会が2017年度か  
ら実施する「未来の消  
防団加入促進事業」の  
一環。同校出身で、久  
万高原町消防本部の消

防士、三笠屋優花さん  
(19)が講演し、在学中  
に西日本豪雨を経験し  
たことから「地元の人  
の顔と名前が一致する  
関係を増やして、災害  
に強い地域になってほ  
しい」と呼びかけた。

生徒はクラウドで  
放水ホースの展張や災  
害用ドローンの飛行訓  
練も体験し、3年の赤  
松海奈さん(18)は「消

防団の活動や機材につ  
いて知ることができ  
て、あらためて勉強に  
なった」と話した。

市危機管理課による  
と、市内の消防団員は  
21年4月時点で202  
7人。近年は過疎化や  
高齢化の影響もあって  
減少傾向という。

市消防団の渡辺道男  
副団長(57)は「三間地  
域は地元で消防署がな



消防士の仕事などを紹介した三間分校出身の  
三笠屋さん

く、団員がいち早く消  
火に当たる必要があ  
る。一人でも多く若い  
力が加わってくれど  
助かる」と期待してい  
た。

(長尾翼)